

中田かわら版 11月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<15>

101歳バンザイ 山田正雄さん

今年の「敬老会」(中田連合)に、山田さんは元気に出席、最後の演芸まで楽しんで帰っていった。毎年参加しているという。会場までは息子の仁夫さん(67歳)が車で送迎してくれる。「毎年、楽しんで出席している」という気持ちすがばらしい。

山田さんは大正元年(1912年)の生まれ、11月の誕生日を迎えると102歳になる。厚労省が毎年今頃になると

高齢者の人口調査結果を発表しているが、今年100歳以上迎えた人は全国で5万8820人。泉区では100歳になった人は50人、今期中に100歳を迎える人を加えると約80人を数える。こうした超高齢者社会をよく聞くが、私は100歳以上の人と直接話をした経験が一度もない。ところが今年初めて敬老会でお会いして、しかも、山田さんの希望でご自宅でお話を聞くことができた。

100歳という年齢は私には全く未知の世界であり未知の数字。一番聞きたかった言葉だ。山田さんの答えは明快だ。「率直に長生きしたな、という思いですね。でも自分は年寄りという感覚は持ったことはありません」。杖は年寄りくさいので使いたくないという。この前向きな考えこそ山田さんの元気で健康、長寿の源なのだろう。地元の人には山田さんの若いときのことを「頭の切れる人で地域のことを、よくやってくれた」と話す。

2階の階段も一人で上がれるし、「歯も自分のもの、耳もこの通りよく聞こえる」のが自慢だ。仁夫さんは「父のすごいところは自分でできることは全てやること」で、それは今も昔も変わらないし、尊敬している点だ。山田さんは若いときから登山はよくやった。気が向けば1人でも山に出掛けた。音楽にも堪能で12畳の部屋はオーディオセットや大きなアンプがびっしり。棚に収められたCDの数も何百と並ではない。楽器もハーモニカやギターも爪弾く。エレキ(電器)系統にも趣味を持ち、子どもの頃はやった鉱石ラジオ(なんと懐かしい響き)を組み立てそれを井の器の中に置いて、みんなで浪花節や義太夫を聞いたと、懐かしそうに話す。

長い人生の中では幾度も生死を彷徨ったことも。関東大震災、戦争中の空襲では焼夷弾が雨、あられと降り落ちるなか逃げ回り奇跡的に助かる。「よく無事で生き延びたと思いますよ」。父は用心深い人だったと、仁夫さんは言う。「面白い時代に生まれたと思いますね」と山田さん。山田さんの子どもの頃の思い出話も楽しかった。山田さんは借家の2階で生まれたが、1階が何んと馬小屋だった。「だから私はキリストなんです」と笑った。明治から大正に入ると横浜は開港で活況を呈し外国文化が盛んに輸入され、父親は港湾の荷役関係の責任者だったこともあり、外国の珍しい物を取り寄せては家族に自慢。山田さんが小学生の時、バリッとした洋服を着て、黒い革の編上げの靴を履いて登校したら全校の生徒が珍しがって毎日見に来た。当時の子どもはつんつるてんの着物で下駄ばきの時代だ。山田少年は恥ずかしくて三日でやめてしまった話や、最高級品だったフランスパンを食べた味は今も忘れられない。山田さんを見ていると長寿は本人の努力もあるが、温かさを育む家族の絆、環境も大きな要素だということが分かる。楽しい話、貴重な話、ありがとうございました。(編集委員 宮田貞夫)



山田正雄さん(左)と仁夫さん

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

12月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケ
アプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【クリスマスイベント】

- ・ 立場地区センター 12月10日 ブッシュ・ド・ノエル ケーキ作り
12月26日 観劇会
- ・ 中田コミュニティーハウス クリスマス会

※日時、詳細については、直接お問合せ下さい



■中田連合自治会「大運動会」

「富士見丘」 V 準優勝に「中村」

第48回を迎えた「大運動会」が12日、中田小学校校庭で行われた。暑くもなく寒くもなく快適な天候の中、およそ2500人が楽しんだ。午前に行われた得点競技、大縄跳び、百足リレー、障害物リレーなど7種目。午後は綱引き、紅白玉入れと一般女子400メートル、同男子600メートルリレーなど7種に熱戦が繰り広げられた。綱引きは力と力のぶつかり合いだけに、味方の声援も一段と高くなる。自治会代表の力自慢がずらり並ぶ。クライマックスはプログラム最後の男子リレー。この得点次第で上位の順位が決まるとなればなおさらだ。来賓のある人が話してくれた。「この運動会は規模、組織力といい大運動会にふさわしい大会。参加者も勝負抜きに存分に楽しんでいる姿に感動しました」。そう、このパワーこそ中田を支える活動の原動力だと私は思う。

もう一つの良さは自分たちの自治会の選手たちが競技に向かうとき、名前や顔を知らなくても自然と仲間意識でハイタッチで応援すること。「頑張って！」の声が選手にとってどんなに励みになることか。まして新しく転居した家族にとっては嬉しい瞬間だろう。これこそ最高のコミュニティ。そうして来年の運動会へと繋がるに違いない。なお、3位までの成績は次の通り。優勝・富士見丘（94点）、2位・中村（92点）、3位・下村（88点）。

（編集委員・宮田貞夫）



訃報 池上 毅さん

「中田かわら版」の初期からの編集委員、池上さんが9月、亡くなりました。委員の中ではいつも気配りをして編集会議を和やかにしてくれる達人でした。分からないことは、とことん質問する熱心な人でした。ご冥福を心からお祈りいたします。

編集委員一同

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jp へアクセス！！